

2008 - 2009年度
(2008年7月1日～2009年6月30日)

ACM日本支部活動報告

ACM 日本支部

2008 - 2009年度(2008年7月1日～2009年6月30日) 活動報告

1. ACM国際大学対抗プログラミングコンテストアジア地区予選会津大会開催

(International Collegiate Programming Contest – ICPC Asia Regional Contest, Aizu - ACM/ICPC)

(1) 国内予選報告

実施日時: 2008年7月4日(金) 16:30～19:30

参加資格: 1チームは選手3名(学生)とコーチ(教員あるいは大学院生)1名。

選手学生の資格は、大学・大学院・高等専門学校(4・5年生)・短期大学に在籍していること、ACM/ICPC地区大会出場が5回未満であり、世界大会出場が2回未満であること、1985年以降に生まれたか、2004年以降大学・短期大学に初めて入学したこと(なお、高等専門学校およびその卒業生は4年次進級時を大学入学とみなす)。

実施方法: インターネットを利用し、各所属校より参加。

使用言語: C++, C, Java

問題: 全6問。設問は英語が主であるが、日本語も併記。

参加校(括弧内は複数チームの場合の参加チーム数): 計65校261チーム

会津大学(11)、有明工業高等専門学校(1)、岩手県立大学(1)、宇部工業高等専門学校(1)、愛媛大学(2)、大阪大学(2)、大阪工業大学(3)、大阪電気通信大学(6)、大阪府立大学(2)、大分大学(1)、岡山県立大学(2)、岡山理科大学(1)、お茶の水女子大学(1)、香川大学(4)、神奈川工科大学(4)、金沢工業大学(2)、関西学院大学(4)、九州大学(6)、九州工業大学(1)、京都大学(8)、京都工芸繊維大学(5)、京都産業大学(11)、久留米工業高等専門学校(2)、慶應義塾大学(8)、神戸大学(1)、神戸市立工業高等専門学校(3)、埼玉大学(6)、静岡理工科大学(7)、湘南工科大学(6)、信州大学(8)、鈴鹿工業高等専門学校(2)、専修大学(5)、千葉大学(3)、中央大学(7)、中部大学(6)、筑波大学(4)、津田塾大学(4)、津山工業高等専門学校(1)、電気通信大学(2)、東京大学(12)、東京工科大学(5)、東京工業大学(4)、東京都立工業高等専門学校(2)、東京理科大学(1)、同志社大学(1)、東北大学(3)、東北学院大学(3)、豊橋技術科学大学(2)、長崎大学(2)、奈良女子大学(1)、新潟国際情報大学(4)、日本大学(7)、広島大学(4)、福島大学(1)、北海道大学(4)、三重大学(6)、明治大学(7)、名城大学(1)、八代工業高等専門学校(3)、山形大学(2)、山梨大学(4)、立命館大学(20)、龍谷大学(2)、和歌山大学(3)、早稲田大学(3)

結果: 大会ルールに則り21校29チームが会津大会参加チームに選抜した。

予選上位2チームは他のアジア地区予選に派遣した。1位の東京大学 kkntkr は11月9日開催の台北大会(台湾)へ参加し、結果は2位であった。2位の東京大学 _____(andaasukoaazu)は11月7日開催のソウル大会(韓国)に参加し、3位であった。

(2) ACM/ICPC 会津大会概要

開催日: 2008年10月25日(土)～27日(月)

場所: 会津大学 講堂 (福島県会津若松市一箕町鶴賀)

主催: ACM/ICPC 会津大会実行委員会、会津大学、ACM 日本支部

後援: 文部科学省、総務省、経済産業省、(独)科学技術振興機構、(独)理化学研究所、(社)情報サービス産業協会

協賛: (社)情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、(財)情報科学国際交流財団

日本アイ・ビー・エム(株)、(株)CSKホールディングス、日本電信電話(株)、(株)ビーコンインフォメーションテクノロジー、(株)ミクシィ、(株)リンクレア、NTTソフトウェア(株)、(株)NTTデータ、グーグル

(株)、(株)KDDI研究所、(株)構造計画研究所、(株)情報数理研究所、(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所、(株)デージー・テクノロジーズ、(株)東芝、日本電気(株)、(株)日立製作所、富士通(株)、三菱電機(株)、リコーソフトウェア(株)

委員関係:

大会委員長: 角山茂章(会津大学長)

副委員長: C. J. Hwang(Texas State University, アジア地区ディレクター)

実行委員長: Alexander P. Vazhenin(会津大学)

実施委員長: 前田多可雄(会津大学)

実施委員: 奥平恭子、奥山祐市、気仙勇子、齋藤寛、佐藤昭、橋田力、山内和昭、吉岡廉太郎、渡部有隆、Vitaly Klyuev、John Brine、Dmitry Vazhenin (以上会津大学)

審判長: 新田善久(津田塾大学)

審判: 石畑清(明治大学)、大山恵弘(電気通信大学)、鴨浩靖(奈良女子大学)、鎌田十三郎(神戸大学)、久野靖(筑波大学)、久保田光一(中央大学)、柴山悦哉(東京工業大学)、鈴木大郎(会津大学)、田中哲朗(東京大学)、西村進(京都大学)、増原英彦(東京大学)、山口文彦(東京理科大学)

審判団顧問: 笈捷彦(早稲田大学)

審判アドバイザー: 近山隆(東京大学)

組織委員: 阿草清滋(名古屋大学)、今井浩(東京大学)、上嶋明(岡山理科大学)、大西淳(立命館大学)、岡野浩三(大阪大学)、程京徳(埼玉大学)、富永浩之(香川大学)、外山芳人(東北大学)、西村俊和(立命館大学)、馬場敬信(宇都宮大学)、藤田聡(広島大学)、松永賢次(専修大学)、松永俊雄(東京工科大学)、南弘征(北海道大学)、峯恒憲(九州大学)、美馬義亮(公立ほこだて未来大学)、村上昌己(岡山大学)、山田宏之(愛媛大学)

事務局:

ACM/ICPC2008 会津大会運営事務局(会津大学)

〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀 E-mail: icpc2008@u-aizu.ac.jp

ACM日本支部事務局

〒107-0062 東京都港区南青山5-12-27ワイズビル405 Tel.03-5766-3643 Fax.03-5766-3642

E-mail: office@acm-japan.org URL: <http://www.acm-japan.org>

大会ホームページ: <http://www.u-aizu.ac.jp/icpc2008/>

出場校: 27校35チーム(括弧内はチーム数)

会津大学(3)、大阪大学(1)、大阪電気通信大学(1)、金沢工業大学(1)、九州大学(1)、京都大学(2)、久留米工業高等専門学校(1)、慶應義塾大学(1)、埼玉大学(1)、筑波大学(1)、津山工業高等専門学校(1)、東京大学(4)、東京工業大学(3)、東京理科大学(1)、東北大学(1)、豊橋技術科学大学(1)、奈良女子大学(1)、広島大学(1)、明治大学(1)、立命館大学(1)、早稲田大学(1)

City University of Hong Kong<香港城市大学>(1)-中国、The University of Hong Kong<香港大学>(1)-中国、Fudan University<復旦大学>(1)-中国、Chiao Tung University<国立交通大学>(1)-台湾、National Taiwan University<国立台湾大学>(1)-台湾、Yonsei University<延世大学>(1)-韓国

基本ルール:

- ・学生3名1チーム
- ・コンテスト中の公用語は英語
- ・プログラミング言語はC++、C、Javaの中から選択
- ・マシンはチームに1台用意され、資料の持ち込みは自由(ただしマシン読み取り可能なものは除く)
- ・設問に対し、正しく動くプログラムを作成した数(正解数)の多さを競う
- ・同数の場合は、提出までの所要時間の短さで判定される。
- ・誤答はペナルティとして時間がプラスされる

(3) 会津大会実施内容

場所： 会津大学 講堂（開会式, トライアルコース, コンテスト, Javaチャレンジ, 問題講評）
同大学 カフェテリア（歓迎会, 表彰式・懇親会）
同大学 講義室（コーチワークショップ）
ホテルルートイン（10月25日宿泊）
会津自然の家（10月26日宿泊）

期間： 10月25日(金)～10月27日(月)

内容： 10月25日(第1日目)： 受付、開会式、トライアルコース、Javaチャレンジ、歓迎会・夕食
10月26日(第2日目)： コンテスト、コーチワークショップ、問題解説、Javaチャレンジ、
表彰式・閉会式、懇親会
10月27日(第3日目)： 会津若松市内観光(飯盛山、会津武家屋敷、会津鶴ヶ城)

(4) 競技結果：（1大学1順位）

- 1位 東京大学(HITORI++) 8問正解
- 2位 National Taiwan University(Fill it please) 7問正解
- 3位 Fudan University(HugeHydralisk) 7問正解

(5) 世界大会への出場チーム

1位東京大学、4位会津大学およびテヘラン大会(自主参加)で3位を修めた埼玉大学が2009年4月にストックホルム・スウェーデンで開催された世界大会に出場した。

本件の収支会計についてはICPC会津大会としてACM日本支部とは別途決算を行った。収入は、ICPC協賛企業からの協賛金、ACM本部(アメリカ)からの開催補助金およびICPC東京大会(前回)からの繰越金で総額8,956,536円、支出は総額7,626,785円となった。

2. CACM 日本語版刊行

ACMの学会誌である「The Communications of ACM」(CACM)の特集記事を翻訳し、賛助会員には日本支部 Web ページ(<http://www.acm-japan.org>)から限定閲覧、ACM個人会員にはACM Digital Libraryでの閲覧とした。なお、記事および翻訳監修者の選定については、CACM編集委員会(委員長:山名早人<早稲田大学>、委員:奥乃博<京都大学>・伊藤貴之<お茶の水女子大学>・建部修見<筑波大学>)に一任した。

(1) CACM 日本語版第19号

発行時期：2009年4月

タイトル：「2008年度和訳セレクト記事」

- ・ IT専門職における女性と男性、日本のソフトウェアオフ
- ・ ショア開発における神話とパラドックス
- ・ Polaris: 多次元データベースの問い合わせ、分析および可視化のためのシステム

出典：CACM 2008年複数号

監訳：伊藤貴之（お茶の水女子大学）

(2) CACM 日本語版第20号

発行時期：2009年6月

タイトル：「画期的躍進をもたらす研究」

出典：CACM 2008年1月号

監訳：建部修見(筑波大学)

3 . ACM/ICPC 関連派遣

ICPC 会津大会上位 3 チームを ACM/ICPC 世界大会へ派遣した。

派遣期間： 2009 年 4 月 18 ~ 22 日

派遣先： KTH-Royal Institute of Technology (ストックホルム・スウェーデン)

対象者： 東京大学チーム<会津大会 1 位> (コーチ金子知適ほか同大学生 3 名)

会津大学チーム<会津大会 4 位> (コーチ渡部有隆ほか同大学生 3 名)

埼玉大学チーム<テヘラン大会 3 位> (コーチ黄隆裕ほか同大学生 3 名)

結果： 東京大学 20 位(5 問正解)、会津大学 49 位(3 問正解)

4 . 会議への派遣

目的： ACM/ICPC 運営に関する会議への参加

派遣期間： 2009 年 4 月 18 ~ 22 日

派遣先： KTH-Royal Institute of Technology (ストックホルム・スウェーデン)

対象者： 石畑清(明治大学、ACM/ICPC 委員)

高橋竜一(早稲田大学、次回 ICPC 東京大会実施委員長)

5 . 特別セミナー関連

(1) ワークショップの開催

ACM/ICPC 補助事業として、ICPC 東京大会予選上位チームおよび世界大会進出チームへの特別強化合宿セミナーを松崎公紀(東京大学)、福澤太(東京工業大学)らが中心となって開催した。

期間： 2008 年 9 月 12 ~ 15 日

場所： 国立オリンピック記念青少年センター(渋谷区代々木)

期間： 2009 年 2 月 20 ~ 23 日

場所： 国立オリンピック記念青少年センター(渋谷区代々木)

特別参加者： Petrozdvodsk State University(ロシア)より学生 3 名

(2) 模擬練習会開催

ACM-ICPC OB/OG の会が中心となり、インターネットを利用して、ICPC の模擬練習会を行なった。

開催日： 2008 年 10 月 19 日

開催場所： 東京大学工学部

6 . ACM/ICPC アジア地区予選東京大会開催準備

2009 年度 ACM/ICPC のアジア地区予選の 1 つとして、早稲田大学がホスト校となり、東京大会の開催準備を始め、選手募集ポスターおよび募集案内を作成し、全国の大学の情報系学科長・高等専門学校校長宛および関係各署 420 ヶ所に 2009 年 5 月中旬に発送した。

(1) 登録： 2009 年 6 月 29 日締切り 登録数 69 校 281 チーム

(2) 国内予選

日時： 7 月 3 日(金) 16 時 30 分 ~ 19 時 30 分

インターネットおよび電子メールを利用して各チームの所属大学にて実施する。

問題は 6 題出題(英語での出題を主とし、日本語を併記)

(3) 東京大会

場所： 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町 3-1)

11月7日(土): トライアルユース、Java チャレンジ、歓迎会

11月8日(日): コンテスト、コーチワークショップ、表彰式

11月9日(月): エクスカーション

(4) 委員

実行委員長: 笈捷彦(早稲田大学)

実施委員長: 高橋竜一(早稲田大学)

審判長: 山口文彦(東京理科大学)

(5) 大会案内ホームページ

<http://www.waseda.jp/assoc-icpc2009/jp/>

7. 会議の協賛の承認

以下の会議への協賛を承認した。

(1) 第2回津田塾大学女性研究者支援センターシンポジウム

「ICT分野で国際的に活躍できる女性人材の育成を考える」

開催日: 2009年10月17日

場所: 津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス津田ホール(東京都新宿区)

主催: 津田塾大学

(2) 第16回ソフトウェア工学の基礎ワークショップ(FOSE2009) in 箱根

開催日: 2009年11月19-21日

場所: ホテルおかだ(神奈川県箱根湯本)

主催: 日本ソフトウェア科学会「ソフトウェア工学の基礎研究会」

プログラム委員長: 中島震(国立情報学研究所)、鷲崎弘宜(早稲田大学)

(3) INTERSPEECH 2010

開催日: 2010年9月26日-30日

場所: 国際会議場 幕張メッセ(千葉県)

主催: International Speech Communication Association(ISCA)

実行委員長: 広瀬啓吉(東京大学)

8. 協賛会議の開催

(1) 第15回ソフトウェア工学の基礎ワークショップ(FOSE2008) in 淡路

開催日: 2008年11月13-15日

場所: ウェスティンホテル淡路および淡路夢舞台国際会議場(兵庫県淡路市)

主催: 日本ソフトウェア科学会「ソフトウェア工学の基礎研究会」

プログラム委員長: 松下誠(大阪大学)、川口真司(奈良先端科学技術大学院大学)

9. 賛助会員企業

(株)ビーコンインフォメーションテクノロジー 東芝ソリューション(株) 日本アイ・ピー・エム(株)

日本電気(株) (株)日立製作所 富士通(株) 三菱電機(株) (株)リコー

キヤノン(株) (財)電力中央研究所

10. 2008-2009 年度収支決算

2008 年 7 月 1 日 ~ 2009 年 6 月 30 日

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
収入の部				
1. 賛助会費収入	1,800,000	2,000,000	200,000	賛助会員企業 10 社
収入合計(A)	1,800,000	2,000,000	200,000	
前期繰越収支差額	3,428,470	3,428,470	0	
収入合計(B)	5,228,470	5,428,470	200,000	
支出の部				
1. 年次総会・講演会開催	260,000	290,896	30,896	
(1) 会議費	200,000	233,466	33,466	総会・講演会会場費
(2) 旅費交通費	20,000	20,000	0	委員旅費
(3) 講演料	30,000	30,000	0	
(4) 雑費	10,000	7,430	2,570	
2. 講演会の開催	400,000	0	400,000	
3. 学会誌翻訳出版	660,000	313,010	346,990	CACM 日本語版電子出版
(1) 翻訳料	650,000	310,700	339,300	翻訳監修謝金
(3) 雑費	10,000	2,310	7,690	
4. プログラミングコンテスト補助	1,600,000	1,268,650	331,350	
(1) 委員派遣費	400,000	148,350	251,650	RCD 会議に派遣
(2) チーム旅費補助費	800,000	640,000	160,000	世界大会に 2 チーム派遣
(3) セミナー開催費	380,000	408,676	28,676	選手強化合宿費用(3 回)
(4) 旅費交通費	0	60,080	60,080	会津大会への派遣
(5) 雑費	20,000	11,544	8,456	
5. 管理費	300,000	326,712	26,712	
(1) 旅費交通費	50,000	89,716	39,716	委員会旅費他
(2) 通信運搬費	150,000	132,447	17,553	Web 維持料、通信費
(3) 会議費	70,000	75,665	5,665	会議室賃借料
(4) 雑費	30,000	28,884	1,116	
支出合計(C)	3,220,000	2,199,268	1,020,732	
当期収支差額(A)-(C)	1,420,000	199,268	1,220,732	
次期繰越収支差額(B)-(C)	2,008,470	3,229,202	1,220,732	

以上